

# 高城地区地域福祉活動計画

## 未来へつながる ほっこり思いやりのまち高城



満開の観音池公園 — 桜と宮崎県唯一の観覧車 —

令和8年3月

## 《高城地区地域福祉活動計画策定委員会の皆さん》



### ～高城地区地域福祉活動計画の策定にあたって～

高城地区における地域福祉の一層の推進を目的として、「未来へつながる ほっこり思いやりのまち高城」をスローガンに掲げた高城地区地域福祉活動計画を策定いたしました。策定にあたっては、策定委員の皆さまをはじめ、関係機関の多大なるご支援とご助言を賜り、心より感謝申し上げます。本計画では、MSC手法を用いたワークショップを通じ、地域に根付く思いやりや支え合いの実践を掘り起こし、共有してまいりました。

計画は策定して終わるものではなく、住民・関係機関が連携し継続的に推進する指針です。今後も地域一体となり、誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりを目指して進めてまいります。

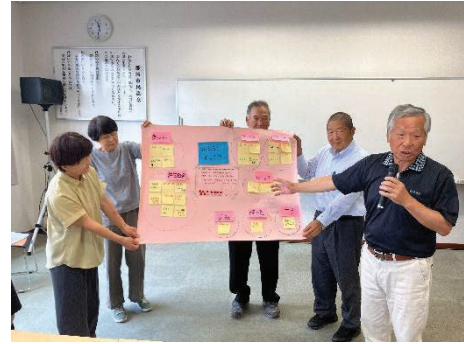


高城地区地域福祉活動計画策定委員会  
委員長 石田 操

## 策定委員会の進め方

### 第1回

MSCを活用したグループワークで、5年間の地域活動を振り返りました。ほっこりする出来事や良い変化のエピソードを出し合い、共感したものに投票して、選ばれたエピソードを深掘りし、大切にしてきた価値観を共有しました。



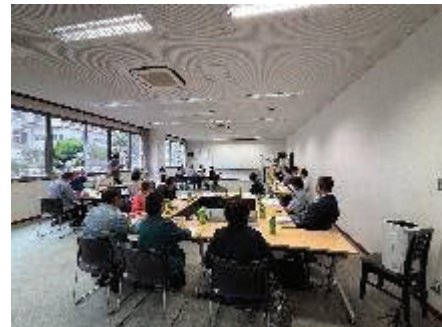
### 第2回

前回は踏まえ5年間の活動を振り返り、武蔵野大学の清水先生の助言のもと出来事や気づきを共有し、価値や意義あるキーワードを整理しました。



### 第3回

第1・2回のキーワードを基に価値観を共有し、行動指針と照らし合わせながら令和8～12年度の今後の取組みを話し合いました。



### 第4回

前回は踏まえ、令和8～12年度の取組みを組織体制や財源、拠点の視点で検討し、その後、新たなスローガンについてと具体策を協議しました。



### 第5回

これまでの検討を振り返り協議シートを最終確認し、これまでの価値観などを基に新スローガン「未来へつながる ほっこり思いやりのまち 高城」に決定しました。



## 地区社協のあゆみ①(設立年月日、活動の経緯など)

### ●これまでの経緯

高城地区においては、2006（平成18）年10月に「高城地区地域福祉推進委員会」を設立。2008（平成20）年6月19日には「高城地区地域福祉協議会」を設立し、2010（平成22）年6月には名称を「高城地区社会福祉協議会」に改称しました。

これらの歩みを重ねながら、今日に至るまで、地域住民主体による福祉活動の基盤が築かれ、今日まで着実に継承・発展してきました。

### ●受賞歴

- 2021（令和3）年10月 都城市社会福祉協議会会長表彰
- 2022（令和4）年10月 都城市長表彰
- 2023（令和5）年11月 宮崎県社会福祉協議会表彰

### ●主な事業

- ・ふくしなんでも相談窓口の開設（毎週火曜日）
- ・ふれあいいきいきサロン支援事業（自治公民館単位）
- ・給食サービス支援事業（自治公民館単位）
- ・高城地区ボランティア福祉まつり
- ・高城地区地域・福祉施設意見交換会
- ・地域福祉合同研修会
- ・高城見守りふれあい訪問
- ・地域生活支援会議の開催（校区別）
- ・学校とのふれあい交流事業
- ・高城地区社協だより「桜友会」の発行
- ・理事役員研修の実施
- ・介護予防等の取り組み

### ●体制

・高城地区社会福祉協議会は、地域の多様な関係団体・機関との連携のもと、地域住民主体の福祉活動を推進する体制を構築しています。

(役員) 会長1名、副会長2名、事務局長1名、会計1名、監事2名

(理事) 高城地区自治公民館連絡協議会、高城地区民生委員児童委員協議会、高城地区ボランティア連絡協議会、高城地区高齢者クラブ連絡協議会、高城地区食生活改善推進員、高城地区身体障害者福祉会、高城地区校長会、高城町商工会、社会福祉法人観音の里 高城園、都城市山之口・高城地区地域包括支援センター、高城地区第2層生活支援コーディネーター、都城市高城総合支所で構成されています。

## 地区社協のあゆみ②(トピック)



### 高城地区ボランティア福祉まつり

福祉まつりを通じた世代間交流の推進と担い手の拡大、福祉施設利用者や学生ボランティアの参加を促進し、楽しみながら学べる福祉教育の機会づくりを進めています。



### ふれあいいいききサロン&給食サービス

各自治公民館での活動を通じて、多世代交流の推進と見守り体制の充実を図り、安心して暮らせる地域づくりを進めています。



### 地域生活支援会議

自治公民館長や民生委員児童委員、関係団体の皆さんと福祉の課題を共有しながら、地域で支え合える体制づくりと具体的な支援の方法について、話し合いを重ねています。



### 地域福祉合同研修会

地域で支え合う学びと交流の場として自公連・民児協・まち協等との連携を深め、学び合いながら知識と理解を深め、地域福祉の推進、課題解決につなげています。

# 創造の道すじ ～笑顔と安心を生み出す「好循環（サイクル）」～

第5次地域福祉活動計画を策定するにあたり、全15地区で現状の「課題・願望」と未来への「思い」をシートに書き出しました。そこには現場のリアルな熱い思いが詰まっています。

## 1. 地区の全体スローガン：これから5年間の目指す地区全体の指針とは？

⇒第5回策定委員会（最終回）では、地区全体のスローガンを決めました。

## 2. 行動指針：地域での活動や取り組みを導く大事な価値観とは？

⇒第1回～2回策定委員会では、「最もすごいチェンジ」を出し合いました



高城Bグループ		つながり
安心	つながり	つながり つながり 見守りから新しいつながりは？
安心・安全 命の大切さ	エピソード	継続的活動
こどもの成長	地区のサロンで、3地区の70歳以上の方たちがカレーを作って食べさせたことで喜ばれたこと 朝、見守りしてこどもがいつもありがとうと言ってくれたことがうれしかった。	長く続けておられる 継続している 根づいていること
多くのこどもを育てておられる	コミュニケーション	感謝
こどもの成長	あいさつ (コミュニケーション) お年よりへの声かけもあり！！ 気軽なコミュニケーション	感謝 ありがとう スムーズにありがとうの言葉が出てくるのが…大事
居場所の仲間		
仲間がいる		
みんなで集まれる場所がある		

◆第5次都市地域福祉活動計画「高城地区地域福祉活動計画シート」（抜粋）

地区全体スローガン	行動指針	活動・事業
未来へつながる ほっこり思いやりのま ち高城	〇話して、聞いて、交 流の輪を広げ、つなが る力で笑顔あふれる助 け合いのまちをつくら う	【地域生活支援会議】 自治公民館長および民生委員を中心に、地域の困りごとや 課題、将来に向けたアイデアを共有・協議する場を設ける

これまでの活動を整理し、未来へ向かってどう進んでいくか、「その道すじ（ロジック）」を解説します。

### 3. 実現に向けて必要なこと：その価値観を大事に、実現に向けて必要なことは？

⇒第3回～4回策定委員会では、「これから取り組むこと」「何が整えば実現できるか」を話し合いました。

#### 【入り口（楽しさ・共感）：人が集まる】

顔が見える関係づくり・身近で共感しやすい内容・参加しやすい雰囲気づくり

↓ ここから信頼が生まれる ↓

#### 【深まり（信頼・支え合い）：相談できる】

気軽に声をかけられる関係づくり・つなぐ・支える仕組みづくり

↓ これが安心をつくる ↓

#### 【土 台（持続可能な仕組み）：無理なく続ける】

拠点・共有・連携・継続

新「地区社協」創造への道すじ

#### 実現に向けて必要なこと

##### これから取り組むこと

##### 《意見を共有できる場の取組み》

- ・誰もが安心して話し合える雰囲気を大切に、困りごとやアイデアをみんなで考えられる場づくりに取り組む。
- ・取組みの進捗状況や課題について、関係者が共有・確認できる仕組みづくりを検討する。

##### 何が整えば実現できるか

##### 【組織体制】

- ・地区社協、自治公民館長、民生委員児童委員、関係団体

##### 【財源】

- ・地区社協

##### 【事務局機能】

- ・各地区において年1回以上の開催を目標とし、継続的に実施できる体制づくりに取り組みます。
- ・防災など消防団をはじめとする多様な関係団体の参加を促し、開かれた協議の場を目指します。

##### 【拠点】

- ・自治公民館、地区公民館、生涯学習センター

#### 目指す地区社協像

※これ以降を参照

## 第5次都城市地域福祉活動計画の体系図

第5次都城市地域福祉活動計画 全体スローガン

笑顔でつながり 未来を綾なす 新しい地域

### 新「地区社協」創造

#### 3つの行動原則

1. 「ゴール」を目指す姿 笑顔が集まる、誰もが主役になれる居場所をつくる
2. 「エンジン」推進力 多様な力とつながり、広がる共感で地域を動かす
3. 「ベース基盤」 小さな「困った」を見逃さず、無理なく支える仕組みをつくる

#### 実現のための4つの創造

1. 組織体制：「固定化」から「チーム戦」へ
2. 財源：「依存」から「稼ぐ力・応援される力」へ
3. 事務局機能：「事務処理」から「つなぎ役」へ
4. 拠点：「会議室」から「あたたかい居場所」へ

### 15地区地域福祉活動計画

姫 城／「優気」をもってふれあって 学びあってつながろう 姫城の宝たち ～姫 LOVE 増殖中！～

妻ヶ丘／笑顔で声かけ 未来へつなぐ 妻ヶ丘

小松原／世代をこえて 笑顔でつながる 小松原

祝 吉／未来につなぐ笑顔のまち祝吉 ～ありがとうをいっぱい咲かせよう～

五十市／誰もが まんなか 活気あふれる いそいち

横 市／みんながつながる横一愛

沖 水／ささえ愛 笑顔でつながる 沖水の和

志和池／みんなの笑顔でつながる未来へ ほっぶ すてっぶ 志和（しゅわ）っ池（ち）！

庄 内／地域を愛し、お互いさまの心でみんなが支え合うまち・庄内

西 岳／西岳1チーム お互いさまで、ほっこりにっこり ～ぼちぼちやっみろかい～

中 郷／みんな元気 笑顔あふれる なかんごう ～こども・未来・絆～

山之口／すべての住民が、いつまでも住み慣れた地域で豊かに生きがいを持って生活するために

高 城／未来へつながる ほっこり思いやりのまち高城

山 田／ふれあい、ささえあい、つながりあう 福祉のまちづくり

高 崎／支えあい未来につながる★きりり★高崎

### 都城市社協経営基盤強化計画

1. 組織・人材

2. 財政

3. 事業

4. 拠点

## MSCのエピソード

○活動を通じて地域でおこった変化「良かったこと」「うれしかったこと」

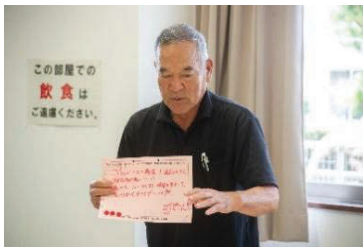
※Most Significant Change (MSC) ≡ 「最もすごいチェンジ」



朝の見守り活動を継続する中で、高校生が「ありがとうございます」と返事をしてくれました。小学生の頃から見守ってきたので、成長を感じて嬉しかったです。



「す（すぐに）・げ（元気よく）・え（笑顔で）あいさつ」で地域をつなぐ取り組みとして、「あいさつマイスター」を認定しました。



グラウンドゴルフ場を整備しました。真夏でも12~13人ほどが練習に来られており、「造ってくれてありがたい」という声をいただいています。



学習支援サポーターとして高校生や学生が関わり、卒業後も引き続き来てくれ、第1期生が中学生になる際には「人の役に立つ人間になりたい」と話してくれました。子どもたちの成長を感じられることが嬉しいです。



福祉学習をきっかけにボランティア活動に参加し、福祉まつりや観音池まつりを通して地域に貢献する経験を積み、高校生になってからも活動を継続しています。

ほかにもこんな素敵なエピソードがありました！

- 高齢者の方が、坂道で荷物を載せた押し車を押していたところ、小学生の男の子が「ぼくが押してあげるよ」と声をかけ、手伝ってくれたと聞き、心がほっこりしました。
- 昨年5月から「こけない体操」を始めましたが、参加者同士のチームワークの良さに驚いています。助け合いや行事の情報交換の場にもなっています。
- 久しぶりにサロンを開催したところ、30人ほどが集まり、楽しく会話をされていました。ボランティアの方も気軽に参加・協力してくださり、とても良かったです。
- 高齢者と小学生によるそうめん流しを行い、子どもたちの笑顔を見ることができて嬉しく感じました。
- 高齢夫婦が入浴を希望して来られ、仕事以外の場面で入浴支援、続いて生活支援を行うことができました。その後の様子は分かりませんが、少し自己満足しています。
- 地区のサロンにおいて、3地区の70歳以上の方々がカレーを作り、ふるまったところ、大変喜ばれました。
- こけない体操の参加率が毎回90%以上であることを、とても嬉しく思っています。

行動指針	現状	これから取り組むこと (令和8年度～令和12年度)
<p>○困ったときはまず 相談！ つながる安 心、広がる笑顔でお たがいさまの心で地 域を結びましょう</p>	<p>①<u>ふくしなんでも</u> 相談 高城老人福祉館 (週1回：火曜 日)</p>	<p><b>【相談体制の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談員の輪番制や複数人での相談対応など、負担軽減を意識した体制づくりに取り組む。</li> <li>民児協等と連携し、幅広い相談に柔軟に対応できる取組みを進める。</li> </ul> <p><b>【地域の声を起点とした支援体制の構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の集会や行事、身近な活動の場などに出向き、困りごとや意見を丁寧に聞き取るとともに、相談窓口や支援情報の周知に努める。</li> </ul> <p><b>【窓口名称や相談の環境づくりの検討】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民が気軽に相談できるよう、相談窓口等の名称変更について検討する。例：〇〇ひろば</li> </ul>
<p>○みんなで見守りあ って、支えあっ て、地域をひとつ にあいさつから広 がる笑顔の地域に しましょう</p>	<p>②<u>小地域での福祉</u> <u>活動の推進</u> 助成金にて活動支 援 小学校区単位 自治公民館単位 (随時開催)</p>	<p><b>【若い世代の参加促進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代の参加を促進し、地域全体で支え合う活動の推進を図る。</li> <li>地域活動を担う人材の育成と、誰もが参加しやすい環境づくりを進める。</li> </ul> <p><b>【子どもたち×地域とのふれあい交流の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校や地域の施設を活用し、料理やスポーツ等を通じたふれあい交流の取組みを進める。</li> </ul>
<p>○話して、聞いて、 交流の輪を広げ、 つながる力で笑顔 あふれる助け合い のまちをつくろう</p>	<p>③<u>地域生活支援会</u> <u>議の開催</u> 地区単位で開催 (年1回)</p>	<p><b>【意見を共有できる場の取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが安心して話し合える雰囲気大切に、困りごとやアイデアをみんなで考えられる場づくりに取り組む。</li> <li>取組みの進捗状況や課題について、関係者が共有・確認できる仕組みづくりを検討する。</li> </ul>

# ほっこり思いやりのまち高城

<p style="text-align: center;"><b>実現するために必要なこと</b></p> <p style="text-align: center;"><b>① 組織体制、②財源、③事務局機能、④拠点</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>目指す地区社協像</b></p>
<p><b>【ふくしなんでも相談】</b></p> <p><b>【組織体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に安定して相談体制が維持できるように輪番制で対応するなどチームで支援できる体制を地区社協内で整えます。</li> <li>・気軽に相談できるための工夫や周知、福祉活動者も相談できるようなみんなの相談の場づくりを目指します。</li> </ul> <p><b>【財源】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協（地区社協会費、共同募金、補助金）の予算から適正に計上して継続できるように取り組みます。</li> </ul> <p><b>【事務局機能・拠点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市社協（高城サテライト）の拠点と連携しながら相談機能の充実を図っていきます。</li> <li>・自治公民館等での利用も検討していきます。</li> </ul>	<p><b>①組織体制：「固定化」から「チーム戦」へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人脈を活かし、幅広い人に声掛けしながら年齢層の厚い組織体制にする</li> <li>・地区社協担当者の増員</li> <li>・学校関係者の役員・理事参入</li> <li>・関係機関とつながりのある地域</li> <li>・専用事務室の確保</li> <li>・有給職員の雇用</li> <li>・法人格の取得（NPO法人、一般社団法人等）</li> <li>・策定委員会のメンバーを構成メンバーにする</li> <li>・有償ボランティアの拡大</li> <li>・地元企業の参画</li> <li>・動きやすいポストづくり</li> </ul>
<p><b>【ふれあいいいききサロン・給食サービス】</b></p> <p><b>【組織体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治公民館と地域ボランティアが中心となってみんなで集まって交流して元気になる活動を継続して取り組んでいきます。また、こどもたちも参加できるような多世代での取り組みも行っていきます。</li> </ul> <p><b>【財源】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協（地区社協会費、共同募金、補助金）の予算から適正に計上して継続できるように取り組みます。</li> </ul> <p><b>【事務局機能・拠点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治公民館の活用</li> <li>・生活支援コーディネーターの活用</li> </ul>	
<p><b>【地域生活支援会議】</b></p> <p><b>【組織体制】</b></p> <p>自治公民館長および民生委員児童委員を中心に、地域の困りごとや課題、将来に向けたアイデアを共有・協議する場を設け、住民一人ひとりが安心して暮らせるまちづくりを推進します。各地区において年1回以上の開催を目標とし、継続的に実施できる体制づくりに取り組みます。また、防災など消防団をはじめとする多様な関係団体の参加を促し、開かれた協議の場を目指します。</p> <p><b>【財源】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協（地区社協会費、共同募金、補助金）の予算から適正に計上して継続できるように取り組みます。</li> </ul> <p><b>【事務局機能・拠点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治公民館、地区公民館の活用</li> </ul>	

行動指針	現状	これから取り組むこと (令和8年度～令和12年度)
<p>○地域のつながる力と学校の元気を力に、世代をこえて支え合い、愛着あふれる福祉のまちをつくらう</p>	<p>④<u>学校と地域の連携・協働</u> 各小中高等学校で開催（年1～2回）</p>	<p><b>【学校と協働し、安心安全のまちづくりを推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中・高等学校を活用し、相互に学び合い、情報や経験を共有できる関係づくりを進める</li> <li>・学校と協力して、安心安全な地域社会の実現に取り組む（「困っている人を助ける」「地域の安全を守る」「防災の学習をする」）</li> <li>・学校と協力し、地域の見守り活動や支え合い、防災学習等に取り組むことで、安心・安全に暮らせる地域社会づくりを推進する。</li> <li>・学校における福祉教育・体験学習に協力し、地域福祉、ボランティアへの理解促進に努める。</li> </ul>
<p>○小さな声に気づき、みんなで支え合い、思いやりの力でひとつになるまちづくりを進めましょう</p>	<p>⑤<u>福祉施設等との意見交換会</u> 地区社協で開催（年1回）</p>	<p><b>【福祉施設との意見交換と交流】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協と社会福祉施設が連携・協力していくため、意見交換を継続的に行う。</li> <li>・地区公民館で開催する。 （例：各公民館の持ち回り開催）</li> <li>・生涯学習教室の受講者と施設利用者・職員が交流できる機会づくりに取り組む。</li> </ul>
<p>○みんなで集い、仲良くおしゃべりしながら運動し、笑顔と健康を育てていきましょう</p>	<p>⑥<u>介護予防等の取り組み</u> こけない体操 自治公民館で開催</p>	<p><b>【介護予防活動の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー等の情報共有を目的とした交流会の取り組み</li> </ul> <p><b>【地域包括支援センターとの連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターと連携した介護予防の取り組み</li> </ul> <p><b>【地区社協による広報及び運営支援の強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協が広報支援や活動サポート、助成金の拡充等により取り組みをバックアップする。</li> </ul>
<p>○笑顔が広がる地域づくりのために、情報を共有し、困った</p>	<p>⑦<u>地域福祉合同研修会</u> 地区社協で開催（年1回）</p>	<p><b>【地域の協力体制を高め、地域力とつながりを育む取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時に地域全体が円滑に連携・協力できる体制づくりを目的として、まち協、民児協、地区社協が一堂に会する合同研修会を実施する。</li> </ul>

<p style="text-align: center;"><b>実現するために必要なこと</b></p> <p style="text-align: center;"><b>① 組織体制、②財源、③事務局機能、④拠点</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>目指す地区社協像</b></p>
<p><b>【学校×地域のコラボレーション】</b></p> <p><b>【組織体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校と地域の協働体制、互いの強みを補い合える関係づくりを構築していきます。</li> </ul> <p><b>【財源】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区社協、地域ボランティア連協の予算から適正に計上して継続できるように取組みます。また、赤い羽根共同募金助成金などの活用やイベント販売などで自主財源の確保も検討していきます。</li> </ul> <p><b>【事務局機能・拠点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校、自治公民館、生涯学習施設</li> </ul>	<p><b>②財源：「依存」から「稼ぐ力・応援される力」へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法人サポーターの募集</li> <li>協賛企業（スポンサー）の発掘</li> <li>自主財源確保のためのツール開発</li> <li>社協のファンを増やして財源確保</li> <li>サロン等のイベント参加費</li> </ul>
<p><b>【福祉施設との意見交換会】</b></p> <p><b>【組織体制】</b></p> <p>○社会福祉施設と自治公民館長と民生委員を中心にとともに学び、ともに支え合う福祉のまちづくりを目指すために年1回必ず取り組めるようにします。</p> <p><b>【財源】</b></p> <p>○地区社協（地区社協会費、共同募金、補助金）の予算から適正に計上して継続できるように取組みます。</p> <p><b>【事務局機能・拠点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習施設、福祉施設の活用、公民館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区社協の宝くじ（抽選方式の協賛）</li> <li>人材を活かした収益事業（演奏、手品）</li> <li>物品販売</li> <li>場所、物の貸し出し</li> <li>有償サービスの導入</li> <li>忌明け寄付の活用</li> </ul>
<p><b>【こけない体操の推進】</b></p> <p><b>【組織体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーを中心に体と心の健康増進と元気に暮らし続けられるように地域包括支援センターと連携しながら介護予防の取組みが継続できるように推進していきます。</li> </ul> <p><b>【財源】</b></p> <p>○地区社協（地区社協会費、共同募金、補助金）の予算から適正に計上して継続できるように取組みます。</p> <p><b>【事務局機能・拠点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治公民館や生涯学習施設の活用</li> </ul>	
<p><b>【地域福祉合同研修会】</b></p> <p><b>【組織体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域で支え合うための学びと交流の場として、自公連、民児協、まち協等と更なる連携強化を図り年1回は必ず取り組めるように継続して取り組んでいきます。</li> </ul> <p><b>【財源】</b></p>	

行動指針	現状	これから取り組むこと (令和8年度～令和12年度)
<p>ときには声をかけ合い、支え合えるまちづくりを進めましょう</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の力を育て、つながりが広がる研修会</li> <li>・知る・考える・理解を深めることができる研修会の取り組み</li> </ul>
<p>○多世代交流やボランティア活動に参加し、仲間と笑顔を増やし、高城の輪を広げる元気なまちをつくりましょう</p>	<p>⑧ボランティア福祉まつりの開催 生涯学習センターで開催 (年1回:11/3開催)</p>	<p><b>【相互に交流の推進を図る福祉まつりの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが主体的に参画し、体験や交流を通じて福祉を学べる福祉まつりの取り組み</li> <li>・社会福祉施設利用者も楽しめる福祉まつりの取り組み(子どもたちとの交流・協働を含む)</li> <li>・子どもから高齢者まで幅広い世代が参加し、地域のつながりを深める福祉まつりの取り組み</li> <li>・障害の有無にかかわらず、誰もが安心して参加できるイベントの取り組み</li> </ul>
<p>○地域に密着した親しみやすい情報発信を心がけて継続して発信できる仕組みづくりをしましょう</p>	<p>⑨広報の取り組み 社協だより「桜友会」の発行(年1回)</p>	<p><b>【広報活動の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協の活動や取り組みを地域住民に身近に感じてもらえるよう、広報誌の発行回数を年2回に増やす取り組みを行う。</li> </ul> <p><b>【民児協との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館活動に参加していない方にも地域の情報や取り組みを届けられるよう、民児協と協力して情報提供を行う。</li> </ul> <p><b>【紙+デジタルによる情報発信】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙とデジタルを活用して、より多くの人に届く情報発信を進める。</li> </ul>

<p style="text-align: center;"><b>実現するために必要なこと</b></p> <p style="text-align: center;"><b>① 組織体制、②財源、③事務局機能、④拠点</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>目指す地区社協像</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協、まち協の予算から適正に計上して継続できるように取組みます。また、赤い羽根共同募金配分金などの活用やテーマによっては地元企業への協力依頼も検討していきます。</li> </ul> <p><b>【事務局機能・拠点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治公民館や生涯学習施設の活用、福祉施設</li> </ul>	<p><b>③事務局機能：「事務処理」から「つなぎ役」へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局員の配置</li> <li>・相談窓口の多機能化（専門相談会、サロン実施）</li> <li>・週5日開設</li> </ul>
<p><b>【ボランティア福祉まつり】</b></p> <p><b>【組織体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみながら学び、つながりが広められるように福祉施設利用者も参加できるようにサポートし、福祉教育の一環として、学生ボランティアにも参加してもらい年1回は必ず取り組めるようにします。</li> </ul> <p><b>【財源】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤い羽根共同募金助成金を活用しながら地区社協、地域ボランティア連協の予算から適正に計上して継続できるように取組みます。まつり開催中は、赤い羽根共同募金の協力の呼びかけも行い財源確保のための活動を行います。</li> </ul> <p><b>【事務局機能・拠点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協にボランティアコーディネーターの配置</li> <li>・地区担当2人体制</li> <li>・ICTの活用（報告書類の簡略化、デジタル化）</li> <li>・いろいろな事業で企業とコラボ</li> </ul> <p><b>④拠点：「会議室」から「あたたかい居場所」へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用机を地区公民館内に配置する</li> </ul>
<p><b>【社協だより「桜友会」発行事業】</b></p> <p><b>【組織体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉活動の情報の発信と住民参加の輪を広げるためにデジタルも活用しながら年2回の発行を行います。また、民生委員児童委員の訪問時に、現在公民館活動に参加されていない方で必要な方にも情報提供できるように民児協と連携しながら取組みます。</li> </ul> <p><b>【財源】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協（地区社協会費、共同募金、補助金）の予算から適正に計上して継続できるように取組みます。企業広告収入の検討も行います。</li> </ul> <p><b>【事務局機能・拠点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治公民館や生涯学習施設、公共施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所の開設</li> <li>・空き家・空き教室を活用した居場所づくり</li> <li>・1地区に複数（2つ以上）の拠点化</li> <li>・小学校区でのミニサテライト</li> <li>・なんでも相談室を雑談室に</li> </ul>

## 地区の風景



桜彩る月山日和城(別名：高城)

### 高城地区地域福祉活動計画策定委員会

◎委員長 石田 操 ○副委員長 坂元 京子

No.	氏名	所属
1	石田 操	高城地区社会福祉協議会会長・高城地区自治公民館連絡協議会
2	坂元 京子	高城地区社会福祉協議会副会長・高城地区民生委員児童委員協議会
3	新原 明義	高城地区社会福祉協議会副会長・高城地区ボランティア連絡協議会
4	福重 英子	高城地区社会福祉協議会事務局長・高城地区社会福祉協議会協力員
5	福島 優子	高城地区社会福祉協議会会計・高城地区社会福祉協議会協力員
6	福島 清邦	高城地区社会福祉協議会理事・高城地区地区自治公民館連絡協議会
7	上村 明美	高城地区社会福祉協議会理事・高城地区地区自治公民館連絡協議会
8	山田 浩一	高城地区社会福祉協議会理事・高城地区地区自治公民館連絡協議会
9	甲斐 六幸	高城地区社会福祉協議会理事・高城地区地区自治公民館連絡協議会
10	池元 充	高城地区社会福祉協議会理事・高城地区民生委員児童委員協議会
11	富山 リツエ	高城地区社会福祉協議会理事・高城地区高齢者クラブ連絡協議会
12	大渡 宏子	高城地区社会福祉協議会理事・高城地区食生活改善推進員
13	永田 照明	高城地区社会福祉協議会理事・高城地区身体障害者福祉会
14	横山 武志	高城地区社会福祉協議会理事・高城地区校長会（有水小学校校長）
15	安藤 武	高城地区社会福祉協議会理事・高城町商工会
16	吉見 いち子	高城地区社会福祉協議会理事・社会福祉法人観音の里 高城園
17	松永 照子	高城地区社会福祉協議会理事・山之口・高城地区地域包括支援センター
18	二見 愛子	高城地区社会福祉協議会理事・高城地区第2層生活支援コーディネーター
19	外勢 浩子	学習支援関係・高城地区土曜こども学習会観音くらぶ
20	東 直也	高城地区社会福祉協議会理事・都城市高城総合支所地域生活課

(順不同：敬称略)